

訪日客おもてなしビジネスなど広がるソリューション

カラーLED表示機、多言語対応機など新製品

TBグループ

中小型LED表示機および屋外型（液晶表示+LED表示）デジタルサイネージで業界最大手（※富士キメラ総研調べ）のTBグループは、今後急増・急成長する訪日客市場（飲食・サービス業店舗／チェーンストア／観光地）向けに多言語対応の新商品を新発売していく。同社グループは、2015年度の経営スローガンとして「NEXTステージ 本格化！」を掲げ、「共創と協業」でNEXTステージの展開を加速する。これまでの同社グループの直近の納入事例とともに紹介する。

同社グループでは、これから約10年を見すえ、この間に同社製品の需要領域で成長性の高いソリューション分野として掲げているのが「環境」「健康」「観光」の「グッド3K」分野だ。

それに対応する今年度の事業戦略として、①急伸する訪日観光客市場（2020年に2500万人）に於ける多言語サイネージ商品でのニッチトップ獲得、②スマートフォン／タブレット端末による新たな電子決済に対応するスマートレジ商品でのニッチトップ獲得、③本格的普及期に入ったLED照明やEMS（エネルギーマネジメントシステム）市場でのニッチトップ獲得を目標としている。

そして、同社グループはこのほど、これらの事業プロジェクト推進に必要な資金調達を目的に第三者割当増資を実施した。調達した資金の総額は6億1425万円。割当先との「共創」と「協業」による販売力・技術力・人材・ノウハウなどを活用することで、同社の商品開発・販売力を高めていく。



＜LED照明使用機器＞

- 直管タイプ 518本
- 電球タイプ 283個
- スポットタイプ 108個
- ダウンライト 120基
- シーリングタイプ 35基
- 投光器タイプ 9基
- その他 105個

節電効果

削減効果率 58.3%

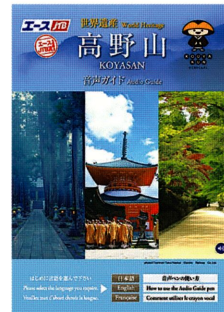
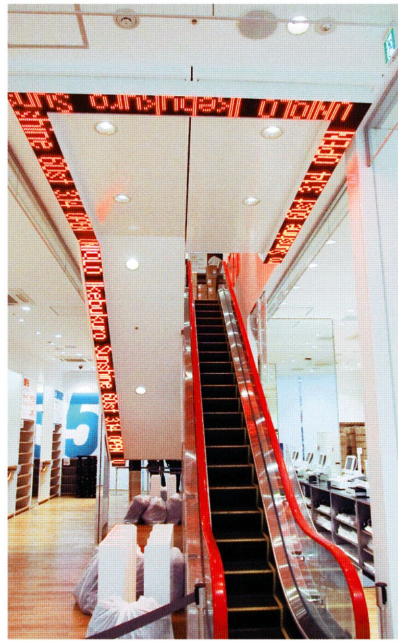


—西日本最大級の大型ビジョン事例—
(幅111m、高さ18m)

—LED照明による節電対応事例—
＜高山市 天然温泉施設＞



—多言語LED表示事例—
＜ファストファッション店舗＞



—音声ガイドによる観光案内—
＜比叡山延暦寺・高野山・姫路城・宮島・グラバー園・宇佐神宮・沖繩＞

スマホから画像・動画が送れる

屋外デジタルサイネージ「BRID IV」

ハイビジョン対応の高輝度液晶画面とフルカラーLEDディスプレイを組み合わせた屋外仕様のデジタルサイネージ。コンテンツの画像と文字を明るく鮮やかに表現する。飲食・小売り・流通・サービス業の店舗、病院・クリニック・塾・カルチャースクールなど、さまざまな業種に適用。撮った画像や動画をスマホ・タブレットから無線で転送でき、表示作成も簡単。電気代は1日12時間使用で約30円/日。



多言語対応で訪日客をおもてなし

LEDディスプレイ「サムライボード」

「免税店」や「8%OFF パスポートを提示してください」など、訪日客に向けてよく使う文章フレーズ20種類（英語・中国語・韓国語）を予め用意。オリジナル原稿を外国語に翻訳するサービスも同時展開し、翻訳した文書はサムライボードがサーバーより自動取得する。道行く訪日客に親しみやすい母国語でPRすることで、その場で誘客を促すことが可能。フルカラータイプと赤単色タイプがある。



Tablet レジトータルソリューション 近日発売

店舗運営を手軽に、おしゃれに、本格的に

店舗の業務支援機器であるPOSレジは、タブレット端末などのスマートデバイスの普及に伴いソリューションも拡大。【主な特徴】①長年のノウハウを凝縮、抜群の操作性②豊富なバリエーションでおしゃれ演出③周辺機器を豊富に用意。リーズナブル④各種決済機能に対応。訪日観光客にも安心対応⑤Win-POSシステムとの共通プラットフォーム化を実現⑥弊社ネットショッピングサイト『e-sense.club』で購入可能



多言語対応テーブルオーダーリング 近日発売

日・英・中のセルフ注文でサービス向上

飲食店の各テーブルに設置したタブレット端末の操作画面から多言語選択ボタンを押すだけで、中国・英語・日本語に自動的に切り替わる。後はメニューブックに記載のメニュー番号を入力するだけの簡単操作。訪日観光客の集客から接客まで店舗運営をトータルにサポート。【主な特徴】①訪日観光客に多言語で対応。言葉の課題を解消②追加オーダーを促進。売上向上に貢献③安心・堅牢性の高いオーダーリングシステムとの同時運用が可能④番号入力方式のため新たなメニュー設定が不要



＜会社概要＞
株式会社 TBグループ 昭和21年設立
東証Ⅱ部上場（東証Ⅱ部6775） 資本金 39.5億円

＜販売取扱い・商品内容のお問合せ先＞
☎03・5684・2321（代）
担当：経営企画部 谷口